

第3回教育データ利活用検討委員会

【日時】

令和5年4月21日（金曜日）11時00分～12時00分

【場所】

オンライン開催（配信会場 東京都庁内会議室）

【議題】

- (1) TOKYOデジタルリーディングハイスクールの取組について
- (2) 教育データの利活用事例について
- (3) 個人情報取扱方針（素案）の検討状況について

【出席者】

■ 委員

北澤武委員長（東京学芸大学大学院 教育学研究科 教授）、
鈴木寛委員（東京大学 公共政策大学院 教授）、
蓮池隆委員（早稲田大学 創造理工学部 教授）、
高柳昌樹委員（東京都公立高等学校PTA連合会 副会長）、
瀧本秀人委員（東京都立光丘高等学校 校長）、
小林正人委員（東京都立三鷹中等教育学校 校長）、
篠祐次委員（東京都教育庁総務部 企画調整担当部長）、
江川徹委員（東京都教育庁総務部 情報企画担当課長）、
磯崎美穂委員（東京都教育庁総務部 情報化推進担当課長）、
松永武志委員（東京都教育庁総務部 島しょ学校ICT環境整備担当課長）、
信岡新吾委員（東京都教育庁指導部 高等学校教育指導課長）

■ 臨時委員

成田悠輔委員（イェール大学助教授）

■ 東京都教育庁

総務部教育政策課教育データ活用担当（事務局）

【欠席者】

石井夏生利委員（中央大学国際情報学部 教授）

第3回教育データ利活用検討委員会

【議事概要】

■「TOKYOデジタルリーディングハイスクール」の取り組みと、実践事例について紹介

- ・都立19校を指定校に指定し、令和4年度から5年度にかけてデータの利活用事例を生み出していく取組を進めている。
- ・統合型校務支援システムや定期考査採点分析システムの実践事例を紹介

■海外や先行自治体の事例を踏まえて教育データの利活用について、意見交換を実施

- ・自治体が抱えている課題に対して、データで何ができるか、ということを経験的に相談できる存在が必要
- ・データ分析に関する手続きのフォーマット化が必要。日本では自治体ごとに同じような検討を違う形で繰り返しているため、効率的でない
- ・自治体が抱える課題とそれに取り組める外部分析チームのマッチング場所のようなものが実現し、個人情報保護についてOK/NGの事例がまとまっていれば、日本でも、今までより速く、大規模にデータ分析・利活用が進んでいく。

■「東京都教育ダッシュボードにおける個人情報取扱い方針」について、第2回委員会からの修正点を資料に沿って説明